


**神祇器** Religious/ Festive Ornaments 指定番号 63 (昭和61年度指定)

かす さ し し がしら  
**上総獅子頭** KAZUSA-SHISHIGASHIRA  
は せ がわ てるあき  
長谷川 照昭 (山武市)



獅子頭は、桐を素材として漆を塗って作りますが、九十九里地方に広く伝わる「上総獅子頭」は、下歯が上歯の内側に入る点に特徴があります。  
長谷川さんは、大正時代に絶えてしまった上総獅子頭を、自らの研究と工夫により復活させ、その製作に励んでいます。

連絡先：0475 (58) 1428

**神祇器** Religious/ Festive Ornaments 指定番号 107 (平成5年度指定)

え ど み こ し  
**江戸神輿** EDO-MIKOSHI  
しい な まさお  
椎名 正夫 (我孫子市)



江戸神輿は、胴を髙上げて、周りを回廊と勾欄と階で装飾した造りの「勾欄造り」が特徴の神輿であり、吟味された木材が使用されています。  
椎名さんは江戸時代の古い神輿の修復にも携っており、いつの時代に、誰が見ても良いと思う神輿づくりに取り組んでいます。

連絡先：04 (7182) 0333 **見学のみ可能**

**神祇器** Religious/ Festive Ornaments 指定番号 183 (平成29年度指定)

ぎょうとく み こ し  
**行徳神輿** GYÔTOKU-MIKOSHI  
なかだい ひろし  
中臺 洋 (市川市)



行徳神輿は、「関東型」と呼ばれ、屋根が大きく張出し、堂が細くメリハリのある形が特徴です。中臺さんの製作所は、全工程を自社で一貫して製作できる数少ない製作所です。中臺さんは神輿ミュージアムの公開によって神輿の魅力と伝統技術を国内外に伝えるための新たな取り組みも積極的に行っています。

連絡先：047 (357) 2061

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 200 (令和5年度指定)

つまみかんざし TSUMAMI-KANZASHI  
いしはら としあき  
石原 利晃 (九十九里町)



つまみかんざしは、ちりめんや羽二重をピンセットでつまみ、小さく折りたたんで形作る、江戸時代から続く伝統的な髪飾りです。  
石原さんは、和装の卸業を営む御両親から基本的な技術を教わり、伝統的な花や鳥の形をはじめ、干支をモチーフにした形など、型にとらわれないユニークな作品を製作しています。

連絡先：0475 (76) 8212

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 195 (令和2年度指定)

おお た き やき  
**大多喜焼** OTAKI-YAKI  
いぐち たかゆき  
井口 峰幸 (大多喜町)



大多喜焼は、地元産出の陶土を原材料として、手びねりや蹴ろくろを用いた技法により製作され、粗く独特な質感が特徴的な焼き物です。  
瀬戸・常滑で陶芸を学んだ井口さんは、伝統的な技術を研究し、地元の原材料にこだわった釉薬を使って、陶芸作品の製作に励んでいます。

連絡先：0470 (84) 0664 **製作体験あり**

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 177 (平成24年度指定)

さわら  
**佐原ラフィア** SAWARA-RAFFIA  
いしい とまこ  
石井 登貴子 (香取市)



ラフィアとは、マダガスカル原産のラフィア椰子の葉の部分を加工した天然素材のことです。バッグやバスケット、帽子等の素材として使われています。  
石井さんは、ラフィア工芸の第一人者であった石井かね氏の下で、伝統技術を継承してきました。使い込むほどに柔らかさと艶を増すということで、好評を得ています。

連絡先：0478 (54) 5641 **製作体験あり**

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 184 (平成29年度指定)

うち あ はなび  
**打上げ花火** UCHIAGE-HANABI  
たかぎ いさむ  
高城 勇 (柏市)



高城さんは、明治時代後期から花火作りを続ける高城家の4代目で、地元の手賀沼花火大会を第1回目から手掛けています。  
初代である祖父のもとで習得した火薬の配合や、檜の実や粉殻を使った割り薬作りなど原材料・技法を守りながら、毎年競技大会に出品し、花火の質や演出にもこだわっています。

連絡先：04 (7191) 3376

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 206 (令和7年度指定)

うち あ はなび  
**打上げ花火** UCHIAGE-HANABI  
こばやし たくや  
小林 琢也 (君津市)



小林さんは、江戸時代末期から花火作りを続ける福山花火工場の六代目の福山一郎さん(平成19年に県指定)に師事し、火薬の配合や配列など、代々研究されてきた製造技術を引き継いでいます。  
夜空に文字や図形を美しく描き出す「型物」の製造を得意とし、トレンドを取り入れた新しい絵柄の創作にも積極的に取り組んでいます。

連絡先：0439 (54) 0720

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 101 (平成3年度指定)

え ど  
**江戸つまみかんざし** EDO-TSUMAMI-KANZASHI  
ほづみ みの  
穂積 実 (市川市)



つまみかんざしは、江戸時代初期、上方に起こり、小さく刻まれた色鮮やかな羽二重をつまんで作ることに由来します。  
穂積さんは、つまみかんざしの名人である故石田竹次氏に師事し、伝統技術・技法を受け継ぎ、独立しました。以来、かんざしを通して女性を演出し続け、流行にも絶えず気を配っています。

連絡先：047 (337) 4506

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 166 (平成20年度指定)

じょう ば くら  
**乗馬鞍** JÔBA-KURA  
いけがみ ゆたか  
池上 豊 (富里市)




西洋乗馬鞍は、明治以降に製造が始まり、原材料は牛革を使い、二本針縫いなどにより製作されます。富里市は、競走馬のふるさととして有名なことから、乗馬鞍は、この地に相応しい地域の歴史とともに歩む工芸品です。  
池上さんは、先代から技術・技法を受け継ぎ、明治から変わらない製法で製作しています。

連絡先：0476 (93) 3127

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 210 (令和7年度指定)

すな ご ざい く  
**砂子細工** SUNAGO-ZAIKU  
いっしき きよし  
一色 清 (柏市)




砂子細工は、金箔や銀箔を細かく砕いた砂子を、和紙などに蒔いて装飾を施した工芸品です。一色さんは、先々代の祖父 吉太郎さんと先代の父 一夫さんから技術を習得し、砂子や糊材(膠)の作製・調整から砂子の振りかけまで、全工程を手作業で行っており、和紙だけでなく、ガラスやカーボンなどの素材にも砂子細工の技術を応用するため、独自に研究を重ねています。(製作体験は要相談、ご連絡ください。)

連絡先：04 (7144) 3136 **製作体験あり**

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 121 (平成8年度指定)

そう げ ぼり  
**象牙彫** ZÔGE-BORI  
あらかわ さとし  
荒川 啓 (松戸市)



象牙彫は、江戸時代、江戸文化爛熟期に隆盛を誇った日本独特の装飾品でした。  
荒川さんは、祖父の代から三代にわたる象牙職人で、旧来からの根付などの他に、象牙の素材を活かした茶器や装身具などのオリジナル性に富むものも製作し、新たな作品にも取り組んでいます。

連絡先：047 (362) 7124

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 185 (平成29年度指定)

え ど  
**江戸つまみかんざし** EDO-TSUMAMI-KANZASHI  
ほづみ ひろし  
穂積 裕 (市川市)



つまみかんざしは、江戸時代初期、上方に起こり、小さく刻まれた色鮮やかな羽二重をつまんで作ることに由来します。  
穂積さんは、父の実さんから伝統技術・技法を受け継ぐとともに、現代感覚を盛り込んだブローチやフォトフレームの製作など、つまみかんざしの技法のアレンジにも広く取り組んでいます。

連絡先：047 (337) 4506

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 186 (平成29年度指定)

え ど  
**江戸つまみかんざし** EDO-TSUMAMI-KANZASHI  
ふじい あやの  
藤井 彩野 (松戸市)



つまみかんざしは、髪飾りの伝統的なものとして、その技法が江戸時代より伝えられてきました。  
藤井さんは、ワークショップを開催するほか、現代的なデザインを取り入れたものを製作し、つまみかんざしの普及や次世代への伝承にも、積極的に取り組んでいます。

連絡先：090 (9142) 1227

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 190 (令和元年度指定)

え ど  
**江戸つまみかんざし** EDO-TSUMAMI-KANZASHI  
ほづみ ゆうこ  
穂積 裕子 (市川市)




つまみかんざしは、江戸時代初期、上方に起こり、小さく刻まれた色鮮やかな羽二重をつまんで作ることに由来します。  
穂積さんは、父の実さんから伝統技術・技法を受け継ぐとともに、女性の感性を取り入れたチョーカーやバッグチャーム等の製作にも取り組み、つまみかんざしの魅力の普及に努めています。

連絡先：090 (8852) 3946

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 205 (令和6年度指定)

て が き ふすま え  
**手描襖絵** TEGAKI-FUSUMAE  
しまだ よしこ  
島田 由子 (柏市)



襖絵師として、伝統技法の手描きによる襖絵を受注製作しています。  
現代そして未来の生活空間に生きる「手描襖絵」を探求し伝統のバトンを繋げるとともに、「手描襖絵」が日本独自の工芸品として海外市場にも発信していくことができるよう研鑽を積んでいます。

連絡先：080 (3442) 8998 **製作体験あり**

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 115 (平成7年度指定)

とう か く  
**籐家具** TÔ-KAGU  
ふるしま かずよし  
古島 一良 (千葉市)



籐製品は、籐を使用し製作する家具や日常小物等です。  
古島さんは父の定男さん(現代の名工)の下で修行を重ね、2代目として技術を受け継いでいます。素材の持ち味を生かしたデザインと、素材・加工法にこだわり一貫した手作りで時代にこたえるオリジナル商品・オーダー商品を製作し好評を得ています。

連絡先：043 (241) 3031

**その他工芸品** Other Crafts 指定番号 54 (昭和60年度指定)

とう せい ひん  
**籐製品** TÔ-SEIHIN  
ほりえ しんいち  
堀江 深一 (銚子市)



籐製品は、籐を使用して製作する家具や日用雑貨等です。籐職人の数は全国でも数えるほどしかいなくなりました。  
堀江さんは、素材から製品まで一貫した手作りで、籐椅子をはじめ、籐の良さを生かした各種の家具、小物を製造しています。製品の良し悪しを決める技のポイントは、巻き加工と張りを実行することです。

連絡先：0479 (23) 0806

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 68 (昭和61年度指定)

とうせいひん 藤製品 TŌ-SEIHIN

か せ 加瀬 文夫 (銚子市)



藤製品は、藤を使用して製作する家具や日用雑貨等です。

加瀬さんは、手巻、手編という技術を用いた椅子やテーブルの製作を得意とし、伝統的な製作技術の上に現代的な新しいデザインの研究にも意欲的であり、全国的な展示会にも出品し、好評を得ています。

連絡先：0479 (22) 5477

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 188 (平成30年度指定)

とうせいひん 藤製品 TŌ-SEIHIN

か せ 加瀬 稔 (銚子市)



藤の特徴である曲線と強度、そして軽さを最大限に生かし製作したのが藤製品です。

加瀬さんは、昭和61年に県指定を受けた父の文夫さんから受け継いだ技術を大事にしながら、現代の服装や家屋に合った藤製品をお客様目線で製作しています。手編の技術は展示会などで好評を得ています。

連絡先：0479 (22) 5477

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 147 (平成13年度指定)

とんぼ玉 TONBO-DAMA

もりや 森谷 糸 (千葉市)



とんぼ玉は、穴の開いた色ガラスの玉にいろいろな模様を付けたもので、古代文明から作り続けられており、現代でもペンダントや根付などの装飾品に使われています。

森谷さんは、バーナーワークの中の一つとして「とんぼ玉」を作り始め、着物の模様や日本の色を基調とした玉を作りたいとのことでした。

連絡先：043 (237) 7799

製作体験あり

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 172 (平成22年度指定)

びょうぶ 屏風 BYŌBU

たじま よしひろ 田島 義弘 (市川市)



屏風とは、部屋の仕切りや装飾に用いる家具のことであり、小さなふすまのようなものを数枚つなぎ合わせて、折りたためるものです。

田島さんは、下張り裏張りや蝶番などの伝統技法を後世に伝えるため、県の職業訓練校などで後進の育成に尽力し、「千葉県の上級技術者」として表彰を受けています。

連絡先：047 (357) 6094

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 50 (昭和60年度指定)

べっ甲細工 BEKKŌ-ZAIKU

やぶき おおえ 矢吹 覚 (松戸市)



べっ甲は、江戸時代の初めポルトガルやオランダから伝来したのですが、その後、我が国の細工師によって技術、技法が受け継がれてきました。

矢吹さんは、べっ甲細工一筋であり、従来は簪や帯留を製作していましたが、現在は、ペンダント等の製作にも取り組んでいます。

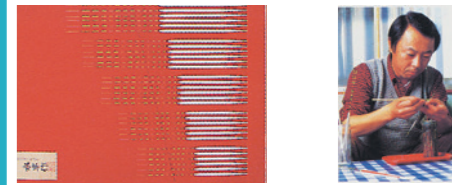
連絡先：047 (364) 9606

製作体験あり

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 65 (昭和61年度指定)

へら浮子 HERA-UKI

おざわ ひろし 小澤 弘 (旭市)



へら鮎釣り用の浮子は、江戸時代以来の伝統を有するものであり、本体部分には孔雀の羽を用いています。

小澤さんは、釣り人に喜ばれる時代に合った浮子を作るため、数々の工夫を重ねています。雅号は「小澤水筆」。

市内にあるへら鮎専門の釣堀センターでも小澤さんの浮子を使用している人が多いです。

連絡先：0479 (63) 9077

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 171 (平成22年度指定)

とんぼ玉 TONBO-DAMA

こまの 幸子 (千葉市)



駒野さんは、平成13年にとんぼ玉で伝統的工芸品の県指定を受けた森谷糸氏に師事し、繊細な技法を習得しました。

受け継いだ技法をもとに、戦国玉や法隆寺玉といった伝統的なとんぼ玉の製作に力を注ぐ一方で、新たな技法やデザインにも積極的に取り組む、より魅力的な作風を目指しています。

連絡先：080 (3534) 9240

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 193 (令和2年度指定)

とんぼ玉 TONBO-DAMA

もりや 森谷 深冬 (千葉市)



森谷さんは、とんぼ玉の伝統性に感銘を受け、平成13年に県指定を受けた母の糸さんから伝統技術・技法を継承してきました。

とんぼ玉は、様々な色や形をガラスの玉で表現でき、新たなデザインにも積極的に取り組みながら、身近な自然を写した日本人の感性を表現した玉の製作に励んでいます。

連絡先：043 (237) 7799

製作体験あり

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 34 (昭和59年度指定)

はけ 刷毛 HAKE

たなか しげみ 田中 重己 (習志野市)



刷毛は、建設業から食品業までその利用の途は広く、原料は動物の毛であり、穴熊から豚の毛まで多種にわたりますが、国内調達が困難となってきています。

田中さんは、明治40年から続く刷毛作りの「小林の刷毛」の三代目として、伝統の手法で刷毛作りを行っています。

連絡先：047 (472) 3431

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 209 (令和7年度指定)

へら浮子 HERA-UKI

すずき いくお 鈴木 郁雄 (栄町)



へら浮子は、江戸時代に発祥した工芸品です。鈴木さんは、へら鮎釣り特有の繊細なアタリを取るための、浮力と強度に優れた浮子を作り、伝統的な素材である孔雀の羽根を用いて製作しています。

釣り場、季節、餌などによって様々な浮子が必要となるため、研究改良を重ねて設計しています。雅号は「割波」(かっぱ)。

連絡先：0476 (95) 4853

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 135 (平成9年度指定)

ぼうしゅう 房州うちわ BŌSHŪ-UCHIWA

おた みつえ 太田 美津江 (南房総市)



房州うちわは1本の女竹から作られ、丸柄と美しい窓が特徴です。

太田さんは、代々続くうちわ職人の家系で、父の一男さんから技術を受け継ぎ、伝統工芸士として認定されています。

また、地域の事業者で組織する房州うちわ振興協議会の会長を務め、生産・販売や体験事業の他に後継者の育成にも取り組んでいます。

連絡先：0470 (33) 2792

製作体験あり

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 204 (令和6年度指定)

ぼうしゅうきりこ 房州切子 BŌSHŪ-KIRIKO

なかむら しゅんいち 中村 俊一 (館山市)



房州切子とは、元々切子灯籠と呼ばれ、新盆の時に墓や仏壇に飾られる灯籠のことです。材料作りから丸1年をかけて作られ、親族や近しい人から、故人への哀悼の意を込めて贈られる特別な工芸品です。中村さんは、地元で古くから伝わる文化と技術を無くしたくない想いから、房州切子職人を目指しました。

連絡先：0470 (27) 4731

見学のみ可能

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 173 (平成23年度指定)

はけ 刷毛 HAKE

たなか こうへい 田中 宏平 (習志野市)



田中さんは、昭和59年に県指定を受けた父の重己さんの下で修業を重ね、家伝の伝統技法を習得しました。表装技術に使われる刷毛は、糊の濃度や紙の強度に応じて、むら、たまり、すじ等を生じさせず、手早く均一に塗布できることが求められるので、入念かつ繊細な熟練の技が必要となります。

連絡先：047 (472) 3431

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 106 (平成5年度指定)

びーズ細工 BEADS-ZAIKU

せんた しゅういち 仙田 秀一 (柏市)



ビーズ細工とは、古くは宝石に属するものとして貴重に扱われていたビーズを使用し、日本刺繍の技法を駆使して、直径1.4~2ミリメートルのビーズを2粒ずつ丁寧に刺繍したものです。

仙田さんは、昭和27年から父の鎮男さんの下で技術を学び、以来、この道一筋です。

連絡先：04 (7143) 4181

製作体験あり

その他工芸品 Other Crafts 指定番号 187 (平成30年度指定)

びーズ細工 BEADS-ZAIKU

せんた かずまさ 仙田 和雅 (柏市)



ビーズ細工とは、古くは宝石に属するものとして貴重に扱われていたビーズを使用し、日本刺繍の技法を駆使して、直径1.4~2ミリメートルのビーズを2粒ずつ丁寧に刺繍したものです。

仙田さんは平成2年から父の秀一さんの下で技術を学び、その伝承と発展に意欲的に取り組んでいます。

連絡先：04 (7143) 4181

製作体験あり

掲載順序について

- ・工芸品の分類は、織物、染色品、紐・刺繍、木工品、竹工品、金工品、人形、郷土玩具、和楽器、神祇器、その他工芸品の順に指定番号順。
- ・なお、その他工芸品のみ、更に分類し、それぞれ指定番号順。

■千葉県指定伝統的工芸品製作者一覧 (故人等)

	製作者名	指定品名	市町村	指定年度	指定番号	備考
あ	相澤 昭太郎	金銀モール縫箔	匝瑳市	平成11	143	(故人)
	相澤 秀昭	衣裳着人形	印西市	平成11	141	(故人)
	東 秀行	佐原太鼓	香取市	平成6	112	(故人)
	天城 健治	下総鉄	松戸市	昭和59	12	(故人)
	天城 忠治	下総打刃物	松戸市	平成8	122	(廃業)
	天野 康郎	象牙彫	松戸市	昭和63	90	(故人)
	飯田 精一	桐タンス	香取市	昭和63	83	(故人)
	飯沼 光治	下総鬼瓦	成田市	昭和60	53	(故人)
	碓 博	へら浮子		昭和61	64	(転居)
	池田 和彌	いすみ楊枝	いすみ市	平成16	155	(廃業)
	石井 かね	佐原ラフィア	香取市	昭和60	52	(故人)
	石井 昌次	日本刀	館山市	昭和62	71	(故人)
	石井 莊道	佐原ラフィア	香取市	平成7	118	(故人)
	石井 徳治	宮彫	南房総市	昭和63	84	(故人)
	石川 健議	房州いわし船	南房総市	昭和60	40	(故人)
	石塚 栄	竹宝竿	野田市	昭和59	18	(故人)
	石塚 正次郎	房総打刃物	成田市	昭和59	10	(故人)
	伊藤 理一	日本刺繍	匝瑳市	平成3	102	(故人)
	伊原 健蔵	下総打刃物	松戸市	平成7	117	(故人)
	今村 靖彦	琴	柏市	昭和62	79	(故人)
	岩井 三郎	飾り煙管	市川市	平成9	129	(故人)
	岩井 正雄	九十九里漁船	旭市	昭和62	74	(故人)
	岩館 傳	桐下駄	成田市	平成8	125	(故人)
	浦崎 栄一	房州うちわ	館山市	平成10	139	(故人)
	榎本 初蔵	小鳥籠	八千代市	昭和62	76	(故人)
	大内 一	和弓	鋸南町	昭和63	87	(故人)
	太田 一男	房州うちわ	南房総市	昭和59	26	(故人)
	大野 正敏	上総鉄	市原市	昭和59	9	(故人)
	岡本 貞藏	上総袖風	茂原市	昭和60	42	(故人)
	小川 いね子	房州うちわ	館山市	昭和63	89	(故人)
	小川 勝義	安房竹工芸品	館山市	昭和61	60	(故人)
	小川 齊太郎	房州うちわ	館山市	昭和60	43	(故人)
	小川 雄四郎	房州うちわ	館山市	平成8	127	(故人)
	沖田 幸雄	蒔絵	成田市	昭和61	67	(故人)
	小澤 勇	萬祝式大漁旗	旭市	昭和60	37	(故人)
	小沢 忠一	萬祝式大漁旗	銚子市	昭和59	4	(故人)
	小澤 登	上総角風	市原市	平成14	149	(廃業)
	小畑 義徳	毛筆	市原市	昭和59	28	(故人)
	小畑 健三郎	毛筆	市原市	昭和60	46	(故人)
か	粕谷 實	房州船鋸	鴨川市	昭和62	72	(故人)
	粕谷 雄吉	房州船鋸	鴨川市	昭和59	13	(故人)
	加藤 徳蔵	上総鯉のぼり	市原市	昭和61	56	(故人)
	加藤 萬	南総尺八	市原市	平成7	116	(故人)
	鎌田 芳朗	佐原張子	香取市	昭和62	78	(故人)
	北島 和男	下総鉄	松戸市	平成4	103	(故人)
	北原 唯幸	篠笛	千葉市	平成11	140	(故人)
	栗原 康司	下総染	佐倉市	昭和59	3	(廃業)
	元良 由男	けやき木工品	君津市	平成8	128	(故人)
	元良好弘	けやき木工品	君津市	平成15	152	(廃業)
	古作 又造	藍染印半天	匝瑳市	平成3	94	(故人)
	越川 勝之	下総袖垣	多古町	昭和59	35	(廃業)
	駒田 照	木工挽物	野田市	昭和59	15	(故人)
	小峯 吉一	桶	野田市	昭和63	82	(故人)
さ	最首 實	建具組子	いすみ市	平成12	146	(廃業)
	斎藤 京子	へら浮子	習志野市	昭和60	51	(廃業)
	斎藤 光司	唐棧織	館山市	昭和59	2	(故人)
	斉藤 栄	木撥	流山市	昭和59	31	(故人)
	斉藤 信太郎	押絵羽子板	千葉市	昭和61	69	(故人)
	佐伯 達雄	佐原和傘	香取市	昭和60	45	(故人)
	酒井 幸司	八千代びな	八千代市	昭和59	24	(廃業)
	坂井 武雄	上総荷車	富津市	昭和61	58	(故人)
	嵯峨野 武	上総とんび	一宮町	昭和61	62	(故人)

	製作者名	指定品名	市町村	指定年度	指定番号	備考
	佐久間 勝治郎	江戸つまみかんざし	流山市	昭和59	36	(故人)
	佐藤 忠章	上総和竿	市原市	平成3	99	(故人)
	佐藤 利治	上総和竿	市原市	昭和62	75	(故人)
	佐藤 稔	上総和竿	市原市	平成8	120	(故人)
	座間 近	伝統農具模型	君津市	昭和63	85	(廃業)
	汐見 正男	房州うちわ	南房総市	昭和59	27	(廃業)
	穴倉 敏志	いちはら小楊枝	市原市	平成20	168	(故人)
	志知 徳美	日本刺繍	我孫子市	平成10	136	(故人)
	新藤 孝	房州和船		昭和59	14	(県外転出)
	菅谷 敏夫	堂宮神輿	旭市	平成7	119	(故人)
	菅谷 又三	野田和樽	野田市	昭和62	73	(故人)
	鈴木 榮二	萬祝長着	鴨川市	昭和62	70	(故人)
	鈴木 照子	房州うちわ	館山市	平成10	138	(故人)
	鈴木 徳平	行徳神輿	市川市	昭和60	48	(故人)
	鈴木 富雄	下総染小紋	船橋市	昭和59	7	(故人)
	鈴木 美子	行徳神輿	市川市	平成元	92	(故人)
	関 元義	小鳥籠	御宿町	昭和62	77	(故人)
た	高木 守人	いすみ楊枝	いすみ市	平成3	98	(故人)
	高澤 文雄	上総角風	市原市	昭和61	61	(故人)
	高根 弘	高嶺ひも	銚子市	平成5	108	(廃業)
	高橋 涉	三味線	富津市	昭和62	80	(故人)
	玉ノ井 芳雄	野田和樽	野田市	昭和60	39	(故人)
	千葉県同業商工業協同組合	房州うちわ	館山市	昭和59	25	(解散)
	塚本 昇	和弓	匝瑳市	平成3	100	(故人)
	都築 操	木撥	流山市	昭和59	30	(故人)
	常澄 富美夫	長南とんび風	市原市	昭和59	21	(故人)
	常世田 安弘	銚子ちぢみ	銚子市	昭和59	1	(故人)
	戸島 甲喜	木象嵌	市川市	平成8	123	(故人)
	戸辺 俊一	江戸神輿	野田市	昭和59	29	(故人)
	鳥山 眞	和弓用矢	佐倉市	昭和59	20	(故人)
な	中台 一司	下総竹細工	佐倉市	昭和59	19	(故人)
	中臺 實	行徳神輿	市川市	昭和60	47	(故人)
	中野 敏夫	手描金更紗	木更津市	平成3	95	(廃業)
	野崎 喜一郎	下総鉄	松戸市	昭和59	11	(故人)
	野崎 吉之助	下総鉄	松戸市	平成3	96	(故人)
	野村 寅吉	あづま傘	市川市	昭和60	44	(故人)
は	日色 恒行	下総手描友禅	匝瑳市	昭和59	5	(故人)
	久田 久松	下総組紐	佐倉市	昭和59	8	(故人)
	福尾 毅	南総尺八	市原市	平成13	148	(故人)
	福山 一郎	打上げ花火	君津市	平成19	165	(廃業)
	福山 次郎	小糸の煙火	君津市	昭和59	33	(故人)
	船見 義雄	長南袖風	長南町	昭和59	22	(故人)
	古島 定男	藤椅子	千葉市	昭和59	32	(故人)
	穂積 和代	江戸つまみかんざし	市川市	平成12	145	(故人)
ま	松澤 一男	節句人形	白井市	昭和59	23	(故人)
	丸山 忠弘	房州うちわ	館山市	平成16	153	(故人)
	三橋 英作	真朱焼	鎌ヶ谷市	平成9	131	(故人)
	三平 昌一	房州うちわ	館山市	平成10	137	(故人)
	宮内 桂三郎	銚子竹すだれ	銚子市	平成6	114	(廃業)
	宮内 文宣	銚子竹すだれ	銚子市	昭和60	41	(故人)
	宮澤 紀年	萬祝式大漁旗	銚子市	昭和60	38	(故人)
	深山 松三	蒔絵	千葉市	昭和61	66	(故人)
	深山 琳	江戸蒔絵	千葉市	平成12	144	(故人)
	望月 悦二郎	江戸唐木細工	野田市	平成16	157	(故人)
	本吉 好文	上総唐箕	君津市	令和元	192	(廃業)
	森 光慶	雨城楊枝	君津市	昭和59	16	(故人)
や	八木澤 祐三	南総竹細工	市原市	昭和63	86	(故人)
	矢矧 幸一郎	切箸(金切鉄)	館山市	昭和63	81	(故人)
	藪崎 保治	木彫刻	市川市	平成19	162	(故人)
わ	和田 秋野	綴錦織	館山市	昭和61	55	(故人)
	渡辺 利之助	下総へら釣竿	我孫子市	昭和59	17	(故人)
	渡辺 博	下総鬼瓦	成田市	平成8	126	(故人)



経済産業大臣指定伝統的工芸品

※経済産業大臣指定伝統的工芸品とは、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき指定されるものであり、一定規模の産地があることなどが必要とされます。

ぼう しゅう  
房州うちわ

房州うちわは、京都の「京うちわ」、四国の「丸亀うちわ」とともに日本三大うちわのひとつとして、南房総地域で受け継がれてきた伝統的工芸品です。

京都の差し柄、丸亀の平柄に対し、丸柄の房州うちわは一本の女竹から作られ、美しい半円で格子模様の窓が特徴です。丸型、卵型、柄長等、様々な形のうちわがあり、近年では実用品としてだけでなく装飾品としても親しまれています。(平成15年3月国指定)



■ 房州うちわ振興協議会 <http://www.bosyu-uchiwa.com/>

■ 南房総市役所 商工観光部 商工課  
Tel 0470-33-1092  
〒299-2492 南房総市富浦町青木 28 番地

■ 館山市役所 経済観光部 雇用商工課  
Tel 0470-22-3362  
〒294-0036 館山市館山 1564-1

こう しょう  
千葉工匠具

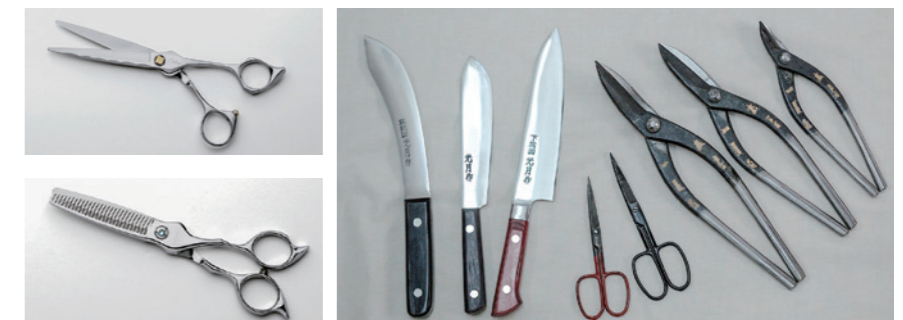
千葉工匠具は、千葉県の鍛冶職人が伝統的な技法で製作する刃物・手道具類のことです。主な製品として、鎌、鋏、包丁、洋鋏があります。房総半島では、江戸期を通じて開拓のために農具や工具等の開墾やまちづくりに必要な道具類の製作技法が発展しました。明治には、西洋文化の流入にともない、牧畜、繊維産業、理髪等に関連する道具の製造も盛んになりました。伝統の技により作り出される千葉工匠具は、全国の職人や一般の利用者に愛されています。

(平成29年11月国指定)

■ 千葉県打刃物連絡会

<https://chibakaji.jimdo.com/>

■ 事務局 (株式会社五香刃物製作所内)  
Tel 04-7193-0271 FAX 04-7193-0272  
※電話受付：月～金曜日(祝祭日を除く)  
午前8時～10時、午後1時～3時  
〒277-0931 柏市藤ヶ谷369-10





千葉県指定  
伝統的工芸品



岡本棧橋（原岡棧橋）〔南房総市〕  
Photo by : washima12

千葉県の観光情報はここでチェック!

浜めし〔銚子市〕

千葉県公式観光サイト「ちば観光ナビ」

千葉 観光



<https://maruchiba.jp/>



千葉県商工労働部観光政策課

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

TEL. 043-223-2416

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kankou/>

令和8年発行